

地域から、日本の医療の未来を描く

黒潮医療人養成プロジェクト 第1回 合同シンポジウム

2023年3月1日(水) 13:00-15:30

参加費
無料

オンライン参加

お申込はこちらから

本シンポジウムはハイブリッド形式で開催しますが、COVID-19の感染拡大防止のため会場は関係者のみ、参加者はどなたもオンラインでの受付となります。参加ご希望の方は、右の事前登録用フォームからお申込みください。



プログラム

- 特別講演「医師である私たちのできること - 東日本大震災の経験を通して -」
講師：菅野 武氏（東北大学病院 総合地域医療教育支援部 助教）
- 取り組み事例報告 ■パネルディスカッション

詳細はチラシ裏面をご覧ください

プロジェクトウェブサイト
kuroshio-pjt.com



主催：高知大学医学部 後援：高知県、(一社)高知県医師会、(一社)高知医療再生機構



黒潮医療人養成プロジェクト、始動!

大きな転換点を迎えた日本の医療。

その最前線は、患者さんのいちばん近くにある地域医療です。

本プロジェクトでは、過疎高齢化や遠隔地の医療確保、将来の南海トラフ地震被害など多くの課題を共有する高知大学、和歌山県立医科大学、三重大学が協働し、地域拠点病院での実習や ICT 学習を低学年から展開することで、新時代の地域医療人材の養成を目指します。

この新しい潮流に大きな希望を寄せ、このたび第 1 回合同シンポジウムを開催いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

第 1 回 合同シンポジウム プログラム内容

13:00	開会 ご挨拶 高知大学医学部長 降幡睦夫 (黒潮医療人養成プロジェクト 事業責任者)
13:05	祝辞 高知県知事 濱田省司氏
13:10	特別講演 座長:高知大学医学部 災害・救急医療学講座 教授 西山謹吾 「医師である私たちのできること - 東日本大震災の経験を通して -」 講師:菅野 武氏 (東北大学病院 総合地域医療教育支援部 助教)
14:30	取り組み事例報告 高知大学医学部 先端医療学コース 災害救急医療研究班 学生の発表
14:50	パネルディスカッション 「黒潮医療人養成プロジェクトの推進に向けて」 司会 高知大学医学部 医学科長/総合診療部 教授 瀬尾宏美 パネリスト 高知大学医学部 家庭医療学講座 教授 阿波谷敏英 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター 副センター長 蒸野寿紀 三重大学医学部附属病院 総合診療部 教授 山本憲彦 高知大学医学部 学生 助言者 東北大学病院 総合地域医療教育支援部 助教 菅野 武氏
15:30	閉会

特別講演 講師プロフィール

かんの たけし

菅野 武氏

東北大学病院
総合地域医療教育支援部 助教
(消化器内科兼務)



宮城県仙台市出身。2005年自治医科大学卒業。国立病院機構仙台医療センターで臨床研修を修了後、宮城県内の医療機関で地域医療に従事。南三陸町の公立志津川病院で勤務していた2011年3月11日、東日本大震災で被災。その時の体験がテレビで世界に報道され、TIME誌「世界で最も影響力のある100人」に選出される。震災後、東北大学大学院に進学、2015年3月には博士課程修了。2017年10月から2年間、カナダのマクマスター大学に留学。2019年10月より現職。医師として診療、研究をおこなうとともに、震災の体験を広く伝える活動に積極的に取り組んでいる。

受賞歴

2011年 米国 TIME 誌 2011年「世界で最も影響力のある100人」
2013年 第2回「明日の象徴」医師部門
2015年 日本消化器内視鏡学会 学会賞

著書

「寄り添い支える 公立志津川病院 若き内科医の3.11」(河北新報出版センター)

お問合せ先



黒潮医療人養成プロジェクト

高知大学医学部 病院事務部 総務企画課 地域医療支援室
電話: 088-888-2744 メール: kuroshiodmp@kochi-u.ac.jp
プロジェクトWEBサイト <https://kuroshio-pjt.com>

